



佐渡金銀山の情報をお伝えします

佐渡金銀山だより

Sado Gold and Silver Mine Newsletter



世界遺産「佐渡島の金山」を
未来につなげよう!



Vol.29
2026.3.31



Sado Gold and Silver Mine Newsletter

第29号

INDEX

- 2・3 ▶「佐渡島の金山」保存活用実行委員会事業についてなど
- 4・5 ▶金銀山だよりでみる世界遺産までの道のり
- 6……▶金の道事業、金銀銅サミット
- 7……▶旧深見家住宅、金子勘三郎家住宅について
- 8……▶佐渡市世界遺産基金など

「佐渡島の金山」保存活用推進ネットワーク設立

2025年5月22日、世界遺産「佐渡島の金山」の価値を次世代へ確実に継承していくことを目的に、標記ネットワークが設立されました。本ネットワークは、地域住民、民間団体、事業者、行政など多様な主体が連携し、それぞれの立場から保存と活用に取り組むための横断的な枠組みです。持続可能な形で、構成資産の価値を守りながら、地域の活力向上にもつなげていくことが期待されています。



設立後は、会員相互の情報共有と連携強化を図るための具体的な取組を進めています。その一環として、2025年12月12日および13日の2日間にわたり、保存活用活動に取り組む会員を対象とした懇談会（勉強会）を開催しました。両日ともに、各団体の実践事例の紹介や課題報告が行われ、参加者同士の活発な意見交換が行われました。

みなさんも「佐渡島の金山」のサポーターとして気軽にご参加ください。

本ネットワークの概要、会員加入（会費無料）はコチラから→



学習型ゲームコンテンツが新登場

SADO BUILDER ～佐渡島の金山 町づくり～

「佐渡島の金山」を知らない方や、小中学生とその保護者の方が、遊びの中で「佐渡島の金山」に興味をもってもらえるよう、ゲームコンテンツを開発しました。

金を掘り進めて佐渡の町を開発していくゲームで、クイズに答えながらゲームを進めることで「佐渡島の金山」の学びを深めることができます。

ゲームを進めると、佐渡小判などの3Dモデルを360度から立体的に見ることができるARも楽しめます。

アプリのダウンロードは不要で、以下URLからブラウザ上でどなたでもプレイできますので、興味のある方はぜひプレイしてみてください。

推奨：PCはChrome/Edge/Firefox（最新または1世代前）またはSafari 15以上。スマホはiOSはSafari、AndroidはChrome。横画面推奨。

※IE非対応。ARはカメラ許可が必要です。

注）ゲーム画面は制作段階のものであるため、実際は異なる場合があります



ゲームはコチラから→



『SADO BUILDER ～佐渡島の金山 町づくり～』

URL <https://sadobuilder.pref.niigata.lg.jp>

制作 株式会社メビウス

制作協力 新潟コンピュータ専門学校

監修 新潟県・佐渡市



「佐渡島の金山」保存活用実行委員会

「佐渡島の金山」保存活用実行委員会（構成員：新潟県、佐渡市、新潟県埋蔵文化財調査事業団、佐渡観光交流機構、「佐渡島の金山」の保存活用を応援する会）では、現地で活動する保存団体やガイド、地域の方々のお話を聞く機会や、実際に現地を歩いて学ぶ体験型プログラムを実施しています。世界遺産の歴史や価値、次世代へ継承する大切さをわかりやすく伝えながら、地域内外にその魅力を広げ、未来へつなぐサポーターの拡大に取り組んでいます。



隠れた資産ツアー（モニターツアー）

地域住民の方々の生活圏に隣接していたり、山中の険しい道を通らないとたどり着けない等の理由から、普段はなかなか見学できない西三川砂金山と鶴子銀山を対象に、今後の本格的ガイドツアー開始に向けたモニターツアーを実施しました。9月～11月にかけて4回にわたり開催したところ、佐渡市内外から計25名の方々に御参加いただきました。

ツアーでは、各鉱山を良く知る方にガイドを務めていただきました。西三川砂金山では地元食材を使った昼食のおもてなしや地元在住の個性あるガイドのお話が大好評。また鶴子銀山でも、森のなかに隠れた様々な種類の坑道や佐渡特有の草花や生き物の紹介など、経験豊かなガイドによる解説とトレッキングを堪能していただきました。アンケートでは、「世界遺産を理解するためにはガイドが必須」「そこでしか味わえない食や自然に触れる機会が欲しい」等の意見が多くありました。

ガイドなしでは見学することが難しい西三川砂金山と鶴子銀山。多くの方々にその価値と魅力を感じてもらえるように、今後もガイドツアーの本格実施に向けて準備を進めてまいります。モニターツアーは来年度も実施しますので、ぜひ御応募ください。



高校生・大学生対象 探究プロジェクト



本プロジェクトでは、参加学生26名が遺産の保存・活用、文化の継承、観光振興に関わる方々のサポートを受けながら、現地ツアーや講演、グループワークを通して、「佐渡島の金山」が持つ価値や魅力を体感し、未来へ受け継いでいくための課題や解決策について話し合い、発想豊かな提言を発表しました。

アンケートでは、参加者の多くが「『佐渡島の金山』の価値への理解が深まった」と回答し、「現地で感じた迫力や、金山とともに生きてきた人々の営みに心を打たれた」「ボランティアの機会があればぜひ参加したい」「今回の学びを周りの人にも伝えていきたい」といった声も寄せられました。

今後も本プロジェクトを継続し、若い世代の力を生かしながら、世界遺産の保存・活用と持続可能な地域づくりを目指し、世界遺産継承の担い手の育成に取り組んでまいります。

幼児向け普及啓発（絵本制作）

県内の小学校低学年以下の児童向けに、子どものころから「佐渡島の金山」に触れる機会を作り、楽しみながら学んでもらうため、「佐渡島の金山」をテーマにした絵本を制作しました。

この絵本は、県内の保育園・幼稚園や、児童クラブ、公立図書館に配布をしているほか、「佐渡島の金山」ホームページでも公開しています。

読み聞かせ等で活用していただき、未来を担う子どもたちが「佐渡島の金山」に興味をもつきっかけになれば幸いです。

「佐渡島の金山」
ホームページは
コチラから→



『ひかるくんとゴールドじいの「さとのきんざん」ひみつのはんけん』

2026年3月発行

発行 「佐渡島の金山」保存活用実行委員会

作画 わだ えつこ

企画・印刷 株式会社ジョーメイ

監修 新潟県・佐渡市



「佐渡金銀山だより」でみる 世界遺産登録までの道のり

「佐渡島の金山」が世界遺産に登録され、あっという間に1年が経過しました。今回は、金銀山だよりで、世界遺産登録までの道のりを振り返ります。

PICKUP ①

佐渡金銀山だより発行

新潟県と佐渡市が世界遺産登録を目指す取組みの1つとして、金銀山だよりを創刊しました。

2010年の創刊以来、16年にわたり29号（今号含む）まで発行し、市の取組みや文化財の価値を紹介しています。

[金銀山だより創刊号3ページ]



PICKUP ②

「佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観」が重要文化的景観に選定

「佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観」が新潟県内では初の重要文化的景観に選定されました。鉱山集落として栄えた笹川集落周辺には、砂金採掘によって形成された平坦地や独立丘陵・急傾斜地などが点在し、その特異な地形条件を巧みに利用した屋敷配置や、砂金採掘で生じたガラ石を用いた石垣などの居住形態をみることができます。



[金銀山だより第4号2・3ページ]

PICKUP ③

佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議発足

登録実現と、将来にわたる価値の継承を期して、官民一体となって県民運動を展開するため「佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議」が発足しました。



[金銀山だより第9号2ページ]

PICKUP ④

国へ推薦書原案を提出 (1度目の挑戦)

世界遺産登録を目指す中で、推薦書の提出は必須となります。新潟県と佐渡市は計5回推薦書原案を提出しました。



[金銀山だより第11号表紙]

PICKUP ⑤

佐渡金銀山ガイダンス施設 「きらりうむ佐渡」オープン

佐渡金銀山の価値や魅力をわかりやすく紹介する施設が相川地区にオープンしました。オープン日は、ガイドツアーイベントや郷土芸能公演も実施しました。

現在、きらりうむ佐渡では季節ごとにイベントを開催しています。

ご来館お待ちしております！

[金銀山だより第20号2ページ]



PICKUP ⑥

政府がユネスコ世界遺産へ 推薦することを正式表明

「佐渡島の金山」は、5度目の挑戦でようやくユネスコへの推薦が決定しました。推薦が決定すると島内外で祝賀イベントが開催されました。

相川地区では、市民団体が中心となり提灯行列を行い、盛り上がりを見せました。

[金銀山だより第25号2ページ]



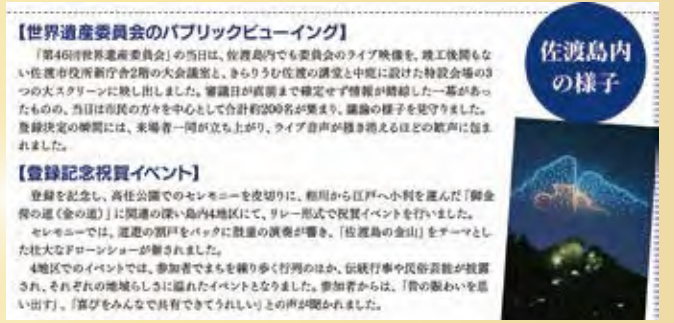
PICKUP ⑦

世界遺産登録決定！

2024年7月27日、世界遺産委員会がインドで開催されました。佐渡市、新潟市、東京都内の3会場でパブリックビューイングが行われ、多くの皆さまが歴史的瞬間を見守りました。

その後、8月1日から8月4日にかけて、島内4地区で記念祝賀イベントを開催し喜びを分かち合いました。

[金銀山だより第28号5ページ]



年表

1997年11月	市民団体による世界遺産登録に向けた運動を開始	2016年3月	2度目の挑戦
2006年4月	新潟県と佐渡市が連携し、世界遺産登録に向けた取り組みを開始	2017年3月	3度目の挑戦
2010年3月	佐渡金銀山だより創刊号発行（「今、なぜ世界遺産なのか」①3ページ）	2018年3月	4度目の挑戦
2010年11月	「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」の名称で、ユネスコ世界遺産暫定リストに記載	2019年4月	佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」オープン（⑤20号2ページ）
2011年2月	佐渡金銀山遺跡 鶴子銀山跡が国史跡に追加指定	2020年11月	旧西三川小学校笹川分校竣工式（「佐渡島の金山」サテライトガイダンス）
2011年9月	「佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観」が重要文化的景観に選定（②4号2・3ページ）	2021年3月	5度目の挑戦
2013年3月	佐渡金銀山遺跡 上相川地区が国史跡に追加指定	2021年10月	佐渡金銀山遺跡 西五十里道・鶴子道が国史跡に追加指定
2014年2月	佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議発足（③9号2ページ）	2021年12月	国文化審議会が、国内の推薦候補に選定するよう答申
2014年10月	佐渡金銀山遺跡 上寺町地区が国史跡に追加指定	2022年1月	政府がユネスコ世界遺産へ推薦することを正式表明（⑥25号2ページ）
2015年3月	佐渡金銀山遺跡 相川金銀山跡が国史跡に追加指定 世界遺産推薦を目指し、国へ推薦書原案を提出（1度目の挑戦）（④11号表紙）	2023年1月	推薦書再提出
2015年10月	「佐渡相川の鉱山及び鉱山町の文化的景観」が重要文化的景観に選定・佐渡金銀山遺跡 西三川砂金山跡が国史跡に追加指定	2023年8月	イコモス現地調査
		2024年6月	イコモスから「情報照会」の勧告がなされる
		2024年7月	ユネスコ世界遺産委員会で「佐渡島の金山」の名称で世界遺産登録が決定（⑦28号5ページ）

◆金の道事業

江戸時代、佐渡で産出された金銀は、海路で出雲崎へ渡り、北国街道・中山道を経て江戸へと運ばれました。総距離約400キロに及ぶこの輸送路は「金の道」と呼ばれ、幕府財政を支える大動脈として機能するとともに、沿線の宿場町や港町の発展を促し、人・物・文化の交流を生み出しました。

佐渡市では、2023年から、世界遺産「佐渡島の金山」の登録を契機に、「金の道」沿線自治体と連携し、文化資源の魅力発信等を含む広域事業を展開してきました。

2025年は、新潟県小千谷市において小千谷市長・佐渡市長によるトークセッションを開催したほか、埼玉県蕨市から東京都板橋区までのウォークイベントなどを実施しました。さらに、2026年1月には東京都において「金の道」事業を総括するフォーラムを開催し、沿線自治体を代表する5名のパネリストが、広域連携のあり方や「金の道」の活用方策について意見を交わしました。

引き続き、文化と歴史をつなぐ「金の道」を核に、沿線自治体が一体となった情報発信と交流促進を図ってまいります。



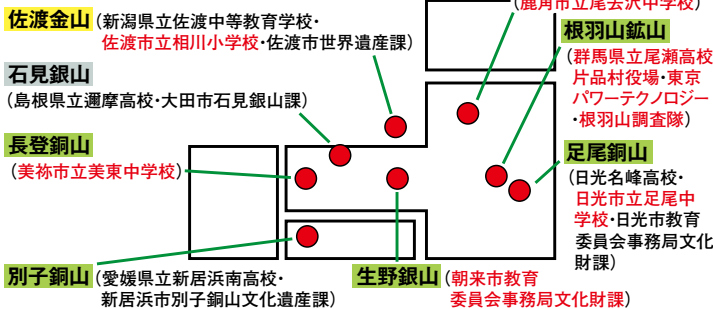
小千谷交流イベント



蕨ウォークイベント



第2回全国金銀銅サミット



※赤字は第2回からの参加団体

◆金銀銅サミット

金銀銅サミットは、金・銀・銅山などの鉱山をテーマにしたオンライン交流会です。今年度2回目を迎え、相川小学校、佐渡中等教育学校のほか、大田市立大森小学校(石見銀山)、愛媛県立新居浜南高校(別子銅山)、栃木県立日光明峰高校・日光市立足尾中学校(足尾銅山)などの学校と、佐渡市世界遺産課、朝来市教育委員会、日光市教育委員会などの行政等、16の団体が参加しました。

少子化により全国で学校の統廃合が進んでいますが、多くの場合、その対象となるのは地方の中山間部や離島などにある学校です。その結果、鉱山をテーマにした学習に取り組んできた学校が次々に姿を消しました。鉱山はそれぞれの地域の歴史や文化を形成し、その地で培われた文化が、日本文化の多様性を築き上げてきました。「各鉱山の歴史的価値を次世代に継承し、地方衰退にブレーキをかけるまちづくりのためにも改めて鉱山に光を当てたい」と、サミットにはそんなねらいが込められています。

国史跡 金子勘三郎家住宅牛納屋保存修理事業

西三川砂金山がある笹川集落には、砂金山の運営に深くかかわった金子勘三郎家の住宅が残っています。2024年から3ヵ年計画で、国史跡金子勘三郎家住宅牛納屋の保存修理工事を実施しています。

今年度は、主に柱や小屋組みなどの軸組の組み立てと、屋根の茅葺きを行いました。また、修理にあたっては、文化庁や史跡の専門家による指導のもと、再利用材の選定や耐震補強の考え方等について慎重に議論を行い、砂金採取から農林業へと生活・生業が転換した笹川集落の文化的景観の特徴を示す典型的な建造物としての価値を損なわないような整備を心がけました。

来年度は、土壁や内装等の工事を行う予定です。2027年以降も順次、納屋・土蔵・便所等の修理工事を行い、2032年に全ての建物の修理が完了する計画です。



修理が進む牛納屋の様子

公開町家 旧深見家住宅

旧深見家住宅は、相川中京町の中ほどに位置し、出の短い庇と板張りの外観、表から裏へ延びる通り土間とそれに沿って居室や座敷が並



旧深見家住宅外観

ぶ間取りとなっており、相川地域の特徴的な町家です。

2016年に所有者からの譲渡を受け、佐渡市で修理を行い、公開町家として2025年に整備が完了しました。

今年度は、関係者との意見交換会や、相川ふれあいガイド向け研修等を実施し今後は、公開町家に加え、来訪者と地域住民等との交流の場としての機能の拡充を図っていきます。



ガイド向け研修会の様子

お知らせ

第48回 全国伝統的建造物群保存地区協議会 総会・研修会を佐渡市で開催します。

第48回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会が2026年5月14日(木)～5月15日(金)に佐渡市で開催されます。協議会は、重要伝統的建造物群保存地区(重伝建)が所在する106市町村により組織され、重伝建を活用した事例や課題を共有するため毎年総会・研修会を開催しています。

市民の皆様と行政が連携し、江戸時代、「佐渡島の金山」とともに栄えた、重伝建地区の宿根木と小木町の視察や記念講演会、首長サミット、情報交換会など様々なプログラムを行います。全国のお客様が町並みをご覧になり、佐渡市の魅力を全国に発信するまたとない大会ですので、佐渡市らしいおもてなしができるよう取り組んでいます。

出前授業・出張説明のご案内

新潟県や佐渡市の職員等が学校や地域に伺い、世界遺産や佐渡金銀山について分かりやすく解説します。座学だけでなく、「きらりうむ佐渡」をはじめとした施設などのガイドもお気軽にご相談ください。



*お問い合わせ・お申し込み先
(実施希望日の2週間前までにお申し込みください)

【佐渡市内での開催】

佐渡市観光文化スポーツ部世界遺産課

【佐渡市以外での開催】

新潟県観光文化スポーツ部文化課



佐渡市内



佐渡市以外



「きらりうむ佐渡」を利用しませんか？

きらりうむ佐渡では、講堂・中庭の施設貸出を行っています。講演会、研修会、ワークショップなど、地域交流事業の開催に最適な多目的スペースです。世界遺産「佐渡島の金山」の情報発信拠点として、地域コミュニティの中心施設を目指しています。施設利用のご相談はきらりうむ佐渡までお気軽にお問い合わせください。



詳しくは
コチラ

活用事例

講堂：講演会、研修会、
ワークショップ、
音楽イベント

中庭：キッチンカー出展、
屋外イベント



佐渡金銀山の保存・活用のためのご支援をお願いします！

佐渡市では、世界遺産である「佐渡島の金山」を守り、伝え、活かすために「世界遺産基金」を設けています。黄金の島の歴史を未来に継承するため、ご理解とご支援をお願いします。

◆世界遺産基金で次のような事業に取り組めます。

□ 守り伝える

- 佐渡金銀山遺跡を保護・保存する取組み
- 遺跡の周辺環境を守る取組み

□ 価値を証明する

- 鉱山絵巻など、価値を補完する資料の収集
- 各種調査・研究の支援

◆2025年度寄附者の紹介(2025年3月～2026年2月末)

(株)Carpenter Iwami様、(株)伊藤園様、(株)DI Palette様、(株)メディアシップ・ブランド様、(株)第四北越銀行様、新潟県信用組合様、(株)ブルボン様、山岸高弘様、新潟県・佐渡市職員有志一同様

佐渡市世界遺産ホームページで贈呈式の様子などを紹介しています！

◆ふるさと納税でも応援できます！

*島外の皆様限定

佐渡ふるさと島づくり寄付金(ふるさと納税)「世界文化遺産「佐渡島の金山」応援コース」でも受け付けしています。



新潟県・佐渡市



新潟県文化課HP



佐渡市世界遺産課HP

新潟県観光文化スポーツ部文化課世界遺産室
佐渡市観光文化スポーツ部世界遺産課
佐渡金銀山ガイダンス施設きらりうむ佐渡

TEL:025-280-5726
TEL:0259-63-5136
TEL:0259-74-2215

2026年3月31日発行